

笑顔の学校生活のために

もうすぐ1年生になるお子さんと同じく、保護者の皆様も、心わくわく少しドキドキ…されていることでしょう。4月から始まる新しい生活が、元気いっぱい笑顔いっぱい輝く毎日になることを期待して、今日は、特別支援教育の観点から、学校生活を紹介したいと思います。

兼城小学校では、すべての子どもたちが輝く学校づくりのために、特別支援教育校内体制の整備を進め、学校全体として特別支援教育の充実に向けて取り組んでいます。

「安心して過ごせる」学校、「安心して学べる」学級は、子どもたちの安定した情緒や学習意欲のベースとなります。子どもたち一人一人の幸せを願って、全職員一丸となって取り組みます。

お子さんの学校生活の様子で気になることや、ご家庭で困っていることなどがあれば、遠慮なく担任や特別支援教育コーディネーターにご相談ください。お子さんの笑顔の学校生活のために、学校と家庭が連携し、よりよい支援を考え、つないでいければと思います



特別支援教育の取り組みについて

特別支援教育の対象となる児童とは？

①特別支援学級対象の児童（系満市就学支援委員会で判定する）

②通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒

〔LD、ADHD、高機能自閉症、アスペルガー症候群などの発達障害の児童も含む〕

チェック項目									
一人遊びが多く、周りの子と会話が成り立たない。	友達にちよっかいを出すなどトラブルになりやすい。	興味のあることばかり話して、会話がかみ合わない。	集中すると切り替えが苦手	で他の活動に移れない。	不器用で運動も苦手、動作もぎこちない。	落ち着きがなく、すぐに気が散る。	トイレや食事のマナーがなかなか身につかない。	人前で話すことが苦手。極度の緊張症である。	姿勢の保持が苦手で、注意も持続しにくいことが多い。

通常の学級に在籍しながら必要に応じて支援を受ける場

○通級指導教室（発達通級→兼城小、言語通級→系満小より巡回指導）

通級指導教室は、通常学級に在籍しながら、子どもが苦手としていることをサポートする教室です。時間割の中で決められた時間だけ過ごします。学習に集中できるように心を落ち着かせたり、話したり聞いたりする力を伸ばしたり、友達との人間関係をうまく築くことで、よりよい学校生活を送れるよう支援します。（Q&A参照）

○自立支援室

不登校児童や教室に入れない児童に対し、学習支援、学級・登校支援を行い、子どもたちの自立支援を促します。安心して学べる場が増え、子どもたちの笑顔がますます広がることを願って支援します。

○特別支援教育支援員

子ども達が安心して学校生活を過ごせるよう、生活支援や学習の補助支援を行っています。例えば教室を飛び出した児童の安全確保や居場所の確認、読みや書きやコミュニケーションに困難を示す児童など、特別な支援が必要な児童に対して、サポートなどを行います。今年度は校内に2名配置されています。

○児童支援委員会（毎月1回）・スクリーニング会議（年2回）

定例会を開き、各学年の児童の様子を話し合っています。生徒指導、教育相談、特別な支援（学習面、生活面、行動面、情緒面において）を必要とする児童に対して、その児童のニーズにあった学習、生活環境作りや児童のみならず保護者、学級担任やその児童に関わる先生たちの支援策についても話し合います。

○スクールカウンセラー

今年度はカウンセラー1名、月3日程度、来校し子ども達のみならず保護者の相談にも専門的な立場から助言をします。学校に行きたがらない、情緒の不安定、学業不振、体や行動の変化など気になることがあれば相談して下さい。なお相談内容に関しては、秘密厳守で行いますので安心して相談できます。



(Q&A)

通級指導教室とは、どんな教室？

Q1. 通級指導教室とは、どんな教室ですか？

A1. 通常の学級の中で一部、特別な支援を必要とする児童を対象に設置されている教室です。

週に1時間程度、それぞれが持つ課題を解決・改善するために、個別または小集団でのトレーニングを行います。通級指導担当が指導を行います。

Q2. 具体的には、どんな指導内容になりますか？

A2. 児童一人一人の状況に合わせた指導を行います。

指導方法は、①学級の授業を抜けて、別室で個別指導を行う。（取り出し指導）②学級の授業に通級担当が入り、様子を見ながら行う。など、児童の実態によってさまざまな方法があります。

★「言語通級指導」では、正しい発音を身につける練習、音を聞き分ける練習、唇や舌の動きをよくする練習、コミュニケーションの力を育てる指導などを行います。

★「情緒等通級指導」では、社会性やコミュニケーション能力の向上を目指した指導を行います。また、読み・書き・計算等から、特定の学びにおいて困っている児童には実態に合わせて、通常の学級やこれからの生活に生かせる学習の方法と一緒に探しながら支援していきます。

Q3. 通級指導はいつ終了できるのでしょうか？

A3. 児童に必要な力がついたときや、学校で定めた期限を限度として終了判定をします。

手続きの流れは、本人・保護者・関係職員と通級指導担当で面談を行い、終了の準備や書類作成を行い、糸満市教育委員会へ『終了届け』を提出します。

Q4. 通級指導教室の利用について、誰に相談すればよいのでしょうか？

A4. 担任の先生や特別支援教育コーディネーターにご相談ください。

そこから教育相談や就学支援に向けた話し合いの場を設け、子どもにとって最適の学びの場を考えていきます。

☆特に発達障害をもつ子は

対人関係やコミュニケーション、ソーシャルスキルなどに課題を抱えている場合が多く、個別指導と小集団指導を組み合わせる行うことが効果的であると考えられます。

例えば、知識技能など個人の学習内容の習得や力量の向上については個別指導を中心に行い、対人関係や社会的なルールを理解と定着を図るためには小集団指導により実践的に行うなど、目的やねらいを明確にして、指導形態を工夫するようにします。

☆小集団指導の良い点

- ・ 子ども同士の関わりから人間関係を学ぶことができる
- ・ 集団のルールやきまりなど設定しやすいこと
- ・ 子ども同士が刺激しあえ、また、モデルとなることができる
- ・ 異年齢でグループを組むことにより、リーダーシップや責任感を育てることができる。



専門的な指導を行うための場「特別支援学級」

特別支援学級とは、小学校・中学校に設けられている学級の一つで、学習面や情緒面の支援が必要な児童が入級する学級です。1クラス8人までのお子さんが、必要な支援を受けながら学びます。

今年度、兼城小学校には、知的学級「かがやき（2クラス）」、自閉症・情緒学級「ふたば（6クラス）」があります。

特別支援学級には、学年も特性も様々な子どもたちが在籍し、毎日の時間割も各々違います。時間割や学習・活動内容に応じて、特別支援学級と交流学級を行き来します。特別支援学級では、教科別の指導の他に、「自立活動」という時間を設定し、一人一人の発達の特性に応じた指導と支援を行っています。交流学級では、交流学級担任、専科の先生方、友達との関わりあいながら、交流及び共同学習を行っています。

☆『自立活動』では

得意なことを伸ばし、苦手なことはスモールステップで頑張るように励ましながら、自信がもてるように支援しながら学習していきます。



体のイメージをつかみ、スムーズな動きができるように体全体を使った学習をします。

手先の細かい作業を通して、集中することや器用さを身につける学習をします。



遊びやゲームを通して、小集団で友だちとの関わり方を学習します。

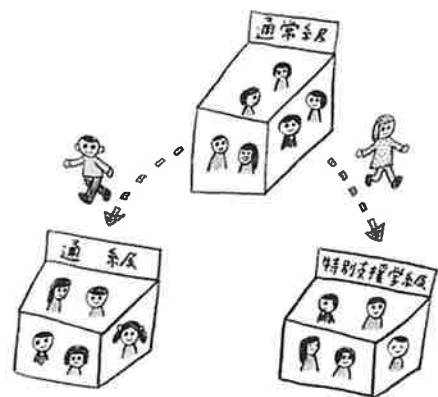


ルールを守って、友達とゲームを楽しんだり、協力したりすることを学習します。



☆知的学級（かがやき）の、あるお友だちの一日の様子を紹介します。

じかんわり	教科・活動	かがやき	交流学級
モジュール	国語	○	
1校時	自立活動	○	
2校時	音楽		○
3校時	国語	○	
4校時	図工	○	
給食			○
清掃		○	
5校時	体育		○
6校時	社会	○	
帰りの会・下校	放課後デイ	○	



- 知的学級では、児童の実態に応じて下学年の学習を行ったり、単元の内容や理解度に合わせ、学びの場や時間数を決めて学習したりします。
- ※情緒学級では、当該学年の学習を進めながら、場合によっては下学年の学習を取り入れたり、進路をゆったり目にしたりするなど、児童の実態に応じた指導をしています。
- 学校行事や学年行事・集会など、交流学級で多くの仲間と一緒に活動する時間を大切にします。
- 情緒の安定を図ることを優先し、学習内容や活動内容を変更することもあります。
- 支援学級・交流学級のどちらでも、子どもたちが安心・安全に過ごせるよう配慮します。
- 学校と家庭、医療機関や福祉（デイ）などと連携し、支援の充実を図ります。

入学式前学校見学について

特別支援学級入級児童及び、通級指導教室に通うお子さん、その他、新しい環境に不安が大きなお子さんで、入学式前に教室や体育館（入学式会場）を見学する時間を設定しています。

見学ご希望の保護者や児童の皆さんは、ご参加よろしくお願ひいたします。

実施日 令和7年4月8日（火）16時～30分程度（新校舎1階児童玄関前集合）